



はなのき

神坂小学校だより No.8 2023.10.24



きたえた前期、たかめる後期

校長 伊藤 博章

後期始業式の日、子供たちに次のような話をしました。

今日から後期がスタートします。そして、第4ステージのスタートでもあります。合言葉は「たかめる」です。前期は「つくる」「じぶんからやる」「きたえる」で、成長するための土台づくりをしてきました。ここからは次への学年に向けて、自分や学級をより高めていきます。

前期を振り返った時、後期は「これがんばろう」「この力をもっと伸ばしたい」と思ったことがあると思います。その思いが、自分を成長させるエネルギーになります。その思いを実現するには、あれもこれもと欲張らず、まずは一つ「これだけはやり遂げる」という目標に絞って、その達成に向けて頑張ることが大切です。また、その努力を、毎日少しずつ積み重ねることが見せかけでない本物の力になります。

神坂小学校の一人一人が、周りの友達や学級の仲間と励まし合いながら、高め合おうと頑張る姿を楽しみにしています。

式での子供たちの話を聞く姿勢はとてもよく、私は全員と目を合わせながら話すことができました。中にはうなずいたり反応したりしながら聞くことができる子もおり、とても気持ちよく話をすることができました。これも前期までにつくり、鍛えてきた成果です。

後期に入り、各学年が社会科見学や体験学習等で校外学習に出かけています。これまで学習して調べたことや疑問について、本物を見て聞いて感じることで解決しようと真剣に話を聞いて学んだり体験したりすることができています。あいさつや返事も元気にできており、対応してくださった相手の方々もとてもうれしそうでした。今までつくり、鍛えてきた自分たちのいい姿を学校外の方にも知ってもらえることができるいい機会にしていくとともに、人とのコミュニケーションや将来社会に出て働くために大切にすることは何なのかを学ぶ場にしていきます。



1, 2年生
山本農園



3年生
中津川市消防本部



4年生
モザイクタイルミュージアム



5年生
名古屋港

11月11日の神坂小学校文化祭に向けての練習が本格的にスタートしました。三味線の全校練習は、まだまだつたないところはあるものの、なかなか聞きごたえのある演奏でした。6年生の演奏は完成度が高く、他学年のあこがれとなるものでした。各学年ともこれから本番に向けての成長が楽しみです。今年度の文化祭は、小学校は単独で実施し、保護者の観覧には制限をかけません。また、地域の方々にも解放します。詳しい時間等につきましては、回覧チラシをご覧ください。

また、11月10日(金)～13日(月)のふるさと神坂総合文化祭作品展では、子供たちの作品を神坂地域活性化センター湯舟の館で展示します。ぜひ足をお運びください。